

CILとちぎ通信

第19号 平成27年5月31日発行



しょうがい にかた きょういく う ・障害のある方の教育を受ける 権利の現状と課題	2	はじめてのとうきょう ・初めての東京スカイツリー	7
ちゅうとしょう しゃ ・中途障がい者として	4	・スカイツリー	9
にほんかいぎ ふくしま ・DP I 日本会議in福島	5	・スカイツリー	11
きょういく げんしょう ・教育の現状	7	はなみ ・お花見	13
		きおく ・記憶	14

とくていひ えいりかつどうほうじん じりつせいかつ
特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

〒321-0923 とちぎけんうつのみやししもぐりまち
栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

でんわ
電話・FAX : 028-638-2538 E-mail : ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL : <http://www11.plala.or.jp/ciltochigi/index.htm>

「障害のある方の教育を受ける権利の現状と課題」

～自立生活センターが今後どのように運動して行けば良いのか～

さいとうやすお
齋藤康雄

2015年4月13日北関東自立生活センター合同研修会「障害のある方の教育を受ける権利の現状と課題～自立生活センターが今後どのように運動して行けば良いのか～」というテーマで全国障害学生支援センター代表 殿岡 翼 氏お招きし研修会を開催しました。

殿岡さんは、脳性麻痺で小学校では統合教育を受け、大学で「子どもの権利条約」を学び、卒業後に自立生活センターに関わり、1994年全国障害学生支援センターを設立し、2012年文部科学省 障害のある学生の修学支援に関する検討会 構成員として活躍されております。



殿岡さんからは、インクルーシブ教育を求めた歴史や学校教育法、障害者差別解消法について説明があった。文部科学省では、「障害者」を学校教育法施行令22条の3で示しているものしかなく、あてはまる子どもとくべつしえんがっこう しえんがっきゅうに行き、障害者権利条約の批准に向けて、障害者基本法が改正され、16条（教育）で、「可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容及び方法の改善及び充実を図る等必要な施策を講じなければならない。」とされ、「可能な限り」とは実現に向けて最大限の努力しなければならない。

また、H28年4月施行される障害者差別解消法では、公立学校では、差別的取り扱いが禁止、合理的配慮の不提供の禁止は、義務になっています。また私立学校では、差別的取扱いが禁止、合理的配慮の不提供の禁止は、努力義務です。公立学校では、合理的配慮の不提供の禁止は義務になったが、どういものが合理的な配慮なのか書かれている対応要領の作成は、努力義務になっています。努力義務では対応要領を作っても、作らなくてもいいことになってしまいます。対応要領を作成するのは、各市町村の教育委員会になり、各地域の障害者団体が訴えて、障害当事者の意見聴取はあるのかなどの確認を行って下さい。そうしないと誰も作ってはいけませんと説明があり、今後の活動に活かして行ける研修会になりました。

また、障害のある子どもの親の付き添いの強制をなくそう！全国キャンペーンや地域生活支援事業（移動支援）で通学可能な20余りの自治体があることや、茨城県で差別条令ができ、修学旅行の親の付き添いを強要された事例をどのようにしていったら良いかなどの質問も出され充実した研修会でした。

差別解消法と学校

	国立大学	公立大学	公立学校	私立学校
差別的取扱いの禁止	義務	義務	義務	義務
合理的配慮の不提供の禁止	義務	義務	義務	努力義務
対応要領・指針の作成	義務	努力義務	努力義務	義務
要領・指針の作成者	国立大学法人	公立大学法人 または自治体	自治体または 教育委員会	文部科学省

■Nakaneide Support Center for Students with Disabilities

障害のある子どもの親の付き添いの強制をなくそう！全国キャンペーン
 FB <https://www.facebook.com/tsukisoi>

ちゅうとしょう しゃ 中途障がい者 として

おおやまのりこ
大山智子

じゅうしょう ねん こうつうじ こ いっしゆん しょう しゃ くぶん み
受傷して19年、交通事故で一瞬にして障がい者と区分される身にな
って、あか せいじん むか ねんげつ た
赤ちゃんが成人を迎えるほどの年月が経った。でも、まだまだしょうが
い者としては成人を迎えることに折り合いをつけられない自分がいる。頸
すいそんしょう かんぜんまひ しし まわ ひと しえん
髄損傷、完全麻痺＝四肢まひ。周りの人たちの支援がなければ生きていく
ことが出来ない。自らの過失だったら、生きることに希望や未来など末練
も でき みすか かしつ い きぼう みらい みれん
を持たなかったのかもしれない。仕様ががない・仕方がないと諦め自宅に籠
ってベッドの上で悔しさを噛みしめることもなかったかもしれない。

いま けんじょうしゃ しゃかい で はたら じりつせいかつ せかい
今でも、健全者として社会に出て働き自立生活をしていた世界の
喜怒哀楽と現実を比べてしまう。しょうがい者の世界というものが昔からの
いっぼんでき こていがいねん せま じょうしき おお かん くや
一般的な固定概念と狭い常識がまだまだ多く感じられることがあり、悔し
く かな かな おも とき
くて哀しくてたまらなく思う時がまだまだある。

せいかつ しえん おお ぼめん むかし かくだん こうじょう ふくし
生活の支援は多くの場面では昔にくらべて格段と向上している。福祉



サービスも受けられるようになったし、
ねんまえ うつのみや ふくし
13年前には宇都宮でも福祉タクシーは
かたて すっしゃ ほどしかなかつた おも
片手いかなない数社ほどしかなかったと思
う。「付き添いの人がないなら車椅子を
つ そ ひと くるまいす
押すことが出来ないのので乗せられませ
お でき の
ん。」と電話で断られたのが懐かしいく
うんでんしゆ
らい、運転手さんのサポートはドア to

ドアになり、タクシー会社の数も増えた。それでもまだまだだと思う。

としんぶ けんじょうしゃ せかい
都心部に比べれば、健全者の世界と比べれば・・・

ちゅうとしょう しゃ よ なか たくさん ふべん いっしょうわ
中途障がい者にならなかつたら、世の中に沢山ある不便さは一生分か
らなかつたかもしれない。健全者と障がい者を分け隔てていることが、
けんじょうしゃ しょう しゃ わ へた
当たり前だと思っていただろう。全部が思い通りにいかないのは人間誰し
あ まえ おも ぜんぶ おも どお にんげんだれ
も同じだと思ふ。でも、受傷して二つの世界を知ってしまった。今でも
おな おも じゅうしょう ふた せかい し いま
違和感を感じる。

むかし けんじょうしゃ いぎ も
「昔にくらべれば」ではなく、「健全者にくらべれば」という意義を持
ちながらこれからも生活をしていきたい。

にほんかいぎぜんこくしゅうかい ふくしま しょうがいしゃさべつかいしょうほう
DPI日本会議全国集会in福島 「障害者差別解消法をインクルー
シブ教育の確立に活かすために必要な事」に参加して

さいとうやすお
齋藤康雄

ひがしにほんだいしんさい いしまき じたく ぜんかい いせちなこ りか はは
東日本大震災で石巻の自宅が全壊した伊勢知那子さん、理加さん（母）
が「被災地の中で、地域でインクルーシブ教育を受けてきたこと」という
テーマで報告された。

ちなこさんは、胃ろうからの経管栄養と気管切開部から吸引などの
医療的ケアが必要な方で、現在は、18歳でヘルパーさんや生活介護事業所
（3カ所）を週4回利用されています。マニキュア、髪飾りが大好きな女
の子で、彼女の希望は、地域との関わりを持ちながら、沢山の体験を積ん
で彼女らしく暮らしたいという希望があります。

彼女が地域の小学校に入学する際に、障害についての専門的な知識や
指導方法がない、学校では全てバリアフリー対応ではないので、本人も危険
ですし、体力的にも負担が大きいので、特別支援学校が適していますと言
われ、そこでなんども話し合いがされ、最終的に石巻教育委員会と湊
小学校が受け入れますとなった。

受け入れが決まってからは、湊小学校では、特別支援学校へ先生の派遣
を依頼し、筋緊張の弛め方などを先生から先生へ教えてもらったり、また
病院のリハビリからは、福祉用具の使い方や福祉用具を使用する意義など
のアドバイスもいただいた。小学校では階段昇降機を導入してもらった
りして頂き、また階段の移動は、同級生の男性の有志が移動を手伝って
くれたりして、来てもらっては困ると言われた校長先生も支援してくれる
ようになり、学校全体で支援してくれた。

お母さんの心に残ったことは、胃ろうやたん吸引していると友達とは「な
んで、なんで」と質問してくる。質問をすることは無関心ではない、分か
り合えるスタートなんだと感じた。

また、クラスの係を決めるときに、言葉を持たない知那子ちゃんに、
「知那ちゃんは何の係りができるかな？」から「知那ちゃんは何がしたい
かな？」を気付いてくれた友達が嬉しかった。調理実習では、友達が手を
洗ってくれたなどの思いを話されてくれました。



居住地の学校で学ぶ生活は、楽しいことだけではなかった。毎年、教育
 委員会から支援学校が適切ですとご案内が届き、思いが伝わらずくじけ
 うになったこともあった。楽しいことも楽しくないことも、辛いときも、
 思いや言葉のやり取りを通してお互いを理解する気持ちがどんどん深くな
 り、日々のやり取りの中から理解者が増えていった。今考えると、楽しい
 ことも嫌なことも一緒に共有することが共生社会なのかなとおも
 っている。
 知那ちゃんが中学2年生の時に東日本大震災に遭い、自宅が全壊し
 小学校で二か月避難所生活をした。迷うことがなく地元湊小学校で二
 か月間も居れたのは、地域の人みんな知那子ちゃんを知っていたから居
 れたのと思うし、地域の中で共に学んで、育ててきた時間があったからと
 思う。

なぜ、湊小学校を選んだかという、難しいことではなく、生まれた
 ところで、いきいきと生活したいからということから選び、毎日、学校に
 通っていることが理解に繋がったという素晴らしい報告がなされた。

きょういく げんじょう 教育の現状

すずきだいち
鈴木大地

5月の終わりの頃、DPIの研修会に参加しました。障害者差別解消法や障害者権利条約など、少々自分には難しい内容でした…m(_ _)m

その中で「インクルーシブ教育」というテーマで、当事者、そのご家族の生の声が聴ける場に参加しました。「インクルーシブ教育？」自分の知識不足を恨みました（泣）

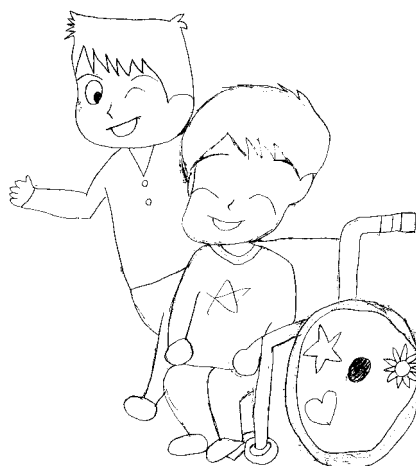
インクルーシブ教育とは、障害のある子どもを含むすべての子どもに対して、子ども一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を、「通常の学級において」行う教育のこと。だそうです。

呼吸器を付けたお子さんが学校行事に参加できない。参加しても必ず親が同行。確かに難しい問題かもしれませんが、学校側の知識や体制がなかなか取れない現実、一方当事者やそのご家族の訴えを聞いて思ったことがあります。

インクルーシブ教育の本質は障害うんぬんじゃないんだと！

インクルーシブ教育とは、一人一人、誰もが「違う」ことを前提とした教育！と会場の方々がおっしゃっていました。

2日間を通して、とても勉強になりました。



はじめのとうきょう 初めての東京スカイツリー

たけうち
竹内ひな

今年の5月の交流会で東京スカイツリーと浅草に行きました。私はもちろん初めて行くのでとても楽しみでした。

私は久しぶりの東京と新幹線&初めてのスカイツリーなどの影響で毎日東京のことを考えていました。しかし…1週間前、天気予報を確認

してみるとなんと雨！少しショックでしたが晴れ女の自分を信じて楽しみにしていました。それでも予報を確認してみても曇りや雨と微妙…我慢できずにめったに作らないテルテル坊主を作っていました。前日は楽しみさが頂点に達しました。学校で生徒会総会が行われましたが、内容は全然聞いていないほど楽しみでした。(笑)

いよいよ当日の朝、テレビをつけたらお天気カメラに写っているスカイツリーを見てびっくり！ツリーの第1展望台から上が厚い雲にすっぽりと覆われていたのです。大丈夫かな…と思いつつテルテル坊主を連れ宇都宮駅へ。そして交流会の参加者の皆さんとともに東京へ向かいました。でも東京に近づくにつれて空が明るくなってきました。

東京についたらまずソラマチ！ここで私の友達と買い物をしました。私の昼食はレストランでオムライスを食べました。そしていよいよスカイツリーにのぼりました！天気は朝より良くなっていましたがまだ曇りでした。私たちは一番上の展望台である展望回廊にのぼり、浅草や両国国技館や東京ドームを見ました。スカイツリーから出るときいくつかのグッズを買いました。



スカイツリーからのんびり歩いて約20分、浅草にも行きました。浅草寺ではこの日ちょうど三社祭が行われていました。浅草では人力車とよくわからないおみこしと雷門を見ました。雷門の提灯はおみこしの影響で半分置まれていましたが立派でした。その提灯に「松下電器」とスポンサー名(?)が書かれていたのは新たな発見でした。

この日は充実した1日でした。

スカイツリー

はこいしみつこ
箱石充子

5月16日スカイツリーに行ってきました。車イス8台ヘルパーさん8人というちょっとした団体旅行。

当日は、明け方から早朝にかけて大雨で心配しましたが、7時半ごろには止んで、電車に乗る頃には薄日が射してきました。スカイツリーへ着いたのが11時前でした。

新幹線ではみんなバラバラになったので、集合場所へ着いてそこから展望台に上がる時間まで、3時間ぐらいの自由時間があつたので、みんな思い思いの場所へ行ったようです。

私はすっかりおのぼりさんで、どこへ行って何を見たいのかおろおろうろするばかりで、ヘルパーさんを困らせてしまいました。とにかく3階まで上がろうかと上がってみたものの、そこはフードコーナーで、そこで買った物しか食べられない、外からの持ち込みはご遠慮下さい、と書いてあって、また、うろろ。

ガラス越しに下の階を見たらC I Lの1人が見えたので、エレベーターのところまで行ったら、仲間の1人が上がってきてくれてホッと一息。私とヘルパーさんはお弁当も持っていたので、仲間にここで食べてもいいかどうかを聞いたら、あなた方の自由でいいということなので、仲間とそこで一息ついて昼食にありつきました。1時間ぐらいそこでゆっくりして、移動を開始しました。

お友達にスカーフでも買いたいと思い、お店をうろろ見てまわり、やっとスカーフを見つけました。次は、何かお菓子を、と探し回りました。



人が大勢なのと、広すぎるのと、どこに何があるのかさっぱり分からなくて困り果てました。

本当は栃木物産展を見たかったのですが、うろろしているうちに展望台に登る時間が迫ってきて、集合場所へ向

かわなくてはならなくなりました。行ってみると、仲間2人だけしかまだ着いていなくてホッとしました。展望台へのエレベーターのところへ案内してくれる人にくっついていくのが大変でした。

なんとか展望台まで登りました。エレベーターは速い速い。350mを50秒で登っちゃいました。周りを見下ろすと、箱庭のような感じでしたが、遠くは雲にかかっていたのでよく見えませんでした。富士山が見えたら最高だったと思いますけど、贅沢は言えません。暑くなく寒くなく、少し遠くまで見られたのですから。

またエレベーターに乗り、今度は人が登れる範囲の450mのところまで登っちゃいました。そこから、真下を覗ける場所がガラス張りであったので、私も恐る恐る覗いてみました。小さな目がくらくらしました。だけど、大きい目の人は飛び出すかもしれません。これは冗談。世界一高いタワーへ登った私も世界一のおのぼりさん。

最後に、お土産屋さんを1件だけ覗き、あまりゆっくり選べないうちに「みんな待ってるから～」とお声がかかり、「まあこれでいいか。」とお菓子をかって、急いで仲間のところへ合流しました。

帰りはみんなバラバラに帰ってきました。私たち女性障害者仲間3人とヘルパーさんは、一緒に上野から新幹線に乗るはずでしたが、ちょっと行き違いがあって、またうろうろ。

それでもなんとか宇都宮駅に、明るいうちに着くことができました。「みなさんお疲れ様～！」ということで、スカイツリーへの旅が終わりました。



スカイツリー

とよまさまみ
遠山昌美

朝のうちは、どんよりした「☘空模様」で、始まって... 早く行って余裕
を持たせ 駅で待つ間に(改装された駅構内で朝の☘コーヒタイムで...「ひ
と息」ε~(、-)ゞフー...

少ししてから 付近の店も開き
今日行くメンバーもそろい? はじま
って 往復の「新幹線」チケットをも
らい 待合室で 少々待ち...



いよいよ...「新幹線」に 2組に別れての乗車 結構、時間がかかるか
と 思ったので ゆっくりしてたら そうでもなく (° 口 °)Iッ...もう
「東京駅」てな具合で (笑) 「私鉄」乗り換えて「スカイツリー駅」
へ... 少々揺られて「目的地」に到着...ω

現地にて参加の「Oさん」とも合流して 大体の人数もそろって いざ
登頂? 的な感じで まずは、「ソラマチ」で「腹ごしらえ」をして ココ



でも 2~3のグループに別れ
(昼食)...。朝、食べたせいか そ
んなにお腹も空いてなく 一応、「サ
ンドイッチ+コーヒー」を...

大体が食べ終わって 移動して
まずは、「ソラマチ」を散策 一応、

「栃木県民」なので「ココ」は(// 艸 `)ネッ... の「アンテナショップ」
を「写メ」して...。 ぶらり...

ようやく 本題 (みんな期待の?スカイツリー
に...) エレベーターホールの前付近・チ
ケット売り場前付近は、長蛇の列で...

こういった時には、障がい者の〇〇を 利用
させていただき 早々の入場で 中は四季の
模様で 春をイメージしてたようで...

まずは、「展望デッキ」 ...ココも外の景色を
見ながらの散策(晴れてきたのは、良いけれど?)



まだガスが残っていて近場しか見えず...



視界がよいと富士山まで見えるとかで...

でも、こ～んな感じでした。(アサヒビールの泡が真ん中に見えるでしょ...)

その上「展望回廊」にも行けるとのことで また

「エレベーター」で...

上での景色も結構、いいもので (上から目線もいいもので...) 一応、行った記念に...!

おまけの「ガラス床」なるとこも... (床下の景色ですが...) 後は、「エレベーター」で 下で買い物して 徒歩で「浅草」に向かい (向こうから私鉄で移動という事でした。)



浅草方面に近づくにつれ「三社祭」のかなりの人混みに 遭って蒸し暑かった気がします。(Sさんは、

浅草でヘルパーをスカウト?)

途中でみんな?解散してしまって 覚えていませんが 「宇都宮」より暑い?ですね。ω



p s. 暑苦しい人々...?

はなみ お花見

ながたげんじ
永田元司

ここ数年、花見らしいことをしていなかったのに、久しぶりにお花見をしたいねということで、4月の始め頃、宇都宮市西川田の総合運動公園でお花見をすることにしました。何人もの方に声を掛け、特別に車を公園内に入れさせてもらうための申請書も用意していたのですが、前日に予報を見ると雨が確実にということでした。

しかたなく事務所に集まって食事会的なものに変更となりました。久しぶりの花見ということで気分も盛り上がっていたのですが、天気はどうすることもできません。参加者は減りましたが、集まってみればおしゃべりなどでそれなりに楽しく過ごすことができました。



そして、そんなふうに過ごしていたところ、午後2時頃になって雨が上がり明るくなってきました。そこでプランBを実行に移し、事務所から500m弱の距離にある下栗神社の桜を見に行くことになりました。仮にまた雨が降っても、すぐに帰ればそれほど濡れずにすむだろうということで、道中、菜の花の畑なども見ながら下栗神社へ行くと、ちょうど見頃の桜が待っていてくれました。本数は多くないけれど、なかなか立派な桜です。写真を撮ったり、

お参りしたりして花見気分を味わえました。

事務所から近く、すぐ前の道をいつも通っているのですが、敷地内に入るのはほとんどの人が初めてでした。予定通りにはいきませんが、事務所の周辺を再発見でき、なかなか楽しい花見となりました。



今回はDP Iのシンポジウムに参加してきました。場所は福島県郡山市のビッグパレットが会場で、東日本大震災の時には約3,000人が避難生活を送っていたらしい。

会場ではいろいろな書籍やグッズを販売していて、その中で被災者達が作っているというトートバッグと証言集のDVDを買った。その裏の説明文を読んでいるうちに、この春に開通したばかりの常磐道を通って仙台まで走ったことを思い出した。

新聞を読んでいてその記事を見つけ、まさかあの常磐道がこんなに早く開通するとは信じられなかった。東日本大震災が起らなければもっと早く全線開通していたが、一部福島第一原発近くを通るために、しばらく、いや、ずっと無理だろうと当時は思っていた。それがこんなに早く開通するとは・・・

さっそく連休に合わせ準備をして、いざ出陣。交通量が少なかったこともあり、いつも通り順調に飛ばし100キロ前後で走っていると、ならはパーキングエリアが見え、ちょっと休憩。ここから道路左側の電光掲示板に線量の数字が表示されるらしい。そして出発。すると線量の表示が0.8マイクロシーベルト、1.6・・・、2.2・・・あれっ、確か昨日の新聞では地元は0.04マイクロシーベルトだったはず、この2.2とは体にどのくらいの影響があるんだろうと思った。ふと下を見ると屋根瓦の応急措置をしたままの家屋が何軒も並んでいた。

そして順調に走ってきた常磐道も先頭に大型トレーラーがいて30台くらいの列ができていたので最後尾に並んだ。速度は70キロ対面通行なので抜かせず、ゆっくり車間距離をあけて走った。線量計の表示は5.5マイクロシーベルト。考えすぎかもしれないが体中の毛が逆立っているような気がした。

対向車の中に1台の大型バイクが走っていて、すれ違った。確か下道の国道6号は徒歩、自転車、バイクは通行禁止だったのを思い出した。ここでエンジントラブルや事故は致命的だと感じた。そして何故か病院でのCT検査も連続で受けれないのも思い出した。この区間を、実際は数十分の

走行だったかもしれないが、1時間くらいは走っているような気がした。

そして帰還困難区域が過ぎ、南相馬鹿島サービスエリアが見えてきたので、ちょっと遅い昼飯を食べようと寄ってみた。浪江焼きそばと凍天を食べながら、心と震災当時のことを思い出した。

屋根瓦は崩れ、塀にはひび割れ、墓石は倒れ、近くの国道は陥没し、橋は落下した。ガソリンスタンドには大行列、コンビニ・スーパー・ドラッグストアの惣菜やカップ麺、乾電池、家庭用ガスボンベはあっという間に無くなり、見渡す限りどの家の屋根瓦にも大きなブルーシートの花が咲いていた。もちろんライフラインは止まっていて、道路の信号機も消えていて、警察官が誘導していた。TVの中と同じで非常事態だった。

今では屋根も塀も修理したが、自分の部屋のTVの左上の壁の大きな亀裂だけは直していない。あの時のことを忘れないために……。そして今でも非常時のために車での寝泊まりは月の半分くらいしている。



震災当時、東北の被災地には

迷惑になるのでボランティアも控えてとか、いろいろな情報が流れていた。自分には何ができるのか分からなかった。

それから9か月、思い悩んだ末に気仙沼市に車を走らせた。

この地には思い入れがあり、どうしても現実をこの目で見たかった。途中のサービスエリアで被災地にボランティアに行くというヒッチハイカーの若者を拾い、東北道を北上した。

そしてあっという間に一関インターへ。降りてからは東へ東へ進み、山間部の家々を見ると全然被害がない。もしかしたらあれは悪い夢だったのか、そんなことを考え始めた矢先、街に入り港に着いた瞬間、目の前にはTVと同じ光景が。「あああああーっ」思わず声が出ていた。

やっぱり夢ではなかった。以前、9.11同時多発テロの映像を見たとき、何か映画のCGの一場面に見え、現実味がなかった。けれど今回はTVで見て、自分も体験して、そして目の前にはTV以上の光景が……。

何かが腐ったような臭いがして、より一層五感に訴えかけてきた。しば

らくは^{ぼうぜん} 呆然としていたが、^{じゅうたくがい} 住宅街の方まで歩いてみた。^{ある} 土台しか残って^{のだい} いなかった。^{まえ} 前に^{となりまち} 隣町に^{たつまき} 竜巻が^{つうか} 通過したので、^み 見に行^い ったことがあるが、^{しぜん} づく自然には^か 勝^{おも} てないと思^{おも} った。

今回も^{こんかい} 人間の^{にんげん} 無力さを^{むりょく} 痛感^{つうかん} した。日^ひ も沈^{しず} んできて、^き そんな^{かえ} 気持ちで^{かえ} 帰^{かえ} ろうとしていたら、^{とお} 遠^{あか} く^み に^{ちかよ} 灯^{あか} りが^み 見^み えた。^{かんぱん} 近^{ちかよ} 寄^み っ^{かんぱん} てみると、^{ふっこうやたい} 看板^{かんぱん} には^{ふっこうやたい} 復興^{ふっこうやたい} 屋^{ふっこうやたい} 台^{ふっこうやたい} 村^{ふっこうやたい} の^{むら} 文字^{もじ} が……。その中^{なか} の^な プレハブ^な 小^な 屋^な の^な 一^な つ^な に^な 入^な ると^な 数^な 人^な の^な 観^な 光^な 客^な が^な 店^な の^な 親^な 父^な と^な ワイ^な ワイ^な や^な っ^な っ^な てる。さ^な っ^な き^な ま^な だ^な の^な 悲^な 惨^な な^な 光^な 景^な が^な 嘘^な み^な たい^な だ。^{ほんとう} 本^{ほんとう} 当^{ほんとう} に^{ほんとう} 別^{ほんとう} 空^{ほんとう} 間^{ほんとう} に^{ほんとう} 思^{ほんとう} えた。そ^{ほんとう} う^{ほんとう} だ^{ほんとう} 、^{ほんとう} こ^{ほんとう} う^{ほんとう} の^{ほんとう} 支^{ほんとう} 援^{ほんとう} も^{ほんとう} あ^{ほんとう} り^{ほんとう} だ^{ほんとう} な^{ほんとう} と^{ほんとう} 呟^{ほんとう} いた。^{うま} 美^{うま} 味^{うま} い^{うま} 魚^{うま} 料^{うま} 理^{うま} を^{うま} 食^{うま} べ、^{うま} 店^{うま} を^{うま} 後^{うま} に^{うま} し^{うま} た。

あれから^{やく} 約^{ねんはん} 2^ま 年^ま 半^ま 、^{まえ} 前^{まえ} よりも^{とうほく} 東^{とうほく} 北^{たび} を^{かいすう} 旅^ふ する^{せんじつ} 回^{せんたい} 数^{せんたい} が^{せんたい} 増^{せんたい} えた。^{ぎゅう} 先^{もりおか} 日^{れいめん} も^{あきた} 仙^{よこて} 台^{よこて} の^{やまがたしんじょうし} 牛^{やまがたしんじょうし} タ^{やまがたしんじょうし} ン^{やまがたしんじょうし} 、^{やまがたしんじょうし} 盛^{やまがたしんじょうし} 岡^{やまがたしんじょうし} の^{やまがたしんじょうし} 冷^{やまがたしんじょうし} 麺^{やまがたしんじょうし} 、^{やまがたしんじょうし} 秋^{やまがたしんじょうし} 田^{やまがたしんじょうし} の^{やまがたしんじょうし} 横^{やまがたしんじょうし} 手^{やまがたしんじょうし} や^{やまがたしんじょうし} き^{やまがたしんじょうし} そ^{やまがたしんじょうし} ば^{やまがたしんじょうし} 、^{やまがたしんじょうし} 山^{やまがたしんじょうし} 形^{やまがたしんじょうし} 新^{やまがたしんじょうし} 庄^{やまがたしんじょうし} 市^{やまがたしんじょうし} の^{やまがたしんじょうし} と^{やまがたしんじょうし} り^{やまがたしんじょうし} も^{やまがたしんじょうし} つ^{やまがたしんじょうし} ラ^{やまがたしんじょうし} ー^{やまがたしんじょうし} メ^{やまがたしんじょうし} ン^{やまがたしんじょうし} と^{やまがたしんじょうし} 、^{やまがたしんじょうし} グ^{やまがたしんじょうし} ル^{やまがたしんじょうし} メ^{やまがたしんじょうし} の^{やまがたしんじょうし} 旅^{やまがたしんじょうし} で^{やまがたしんじょうし} 舌^{やまがたしんじょうし} 鼓^{やまがたしんじょうし} を^{やまがたしんじょうし} 打^{やまがたしんじょうし} っ^{やまがたしんじょうし} て^{やまがたしんじょうし} き^{やまがたしんじょうし} た。^{やまがたしんじょうし} 旅^{やまがたしんじょうし} が^{やまがたしんじょうし} 好^{やまがたしんじょうし} き^{やまがたしんじょうし} な^{やまがたしんじょうし} の^{やまがたしんじょうし} で^{やまがたしんじょうし} 、^{やまがたしんじょうし} 自^{やまがたしんじょうし} 分^{やまがたしんじょうし} ら^{やまがたしんじょうし} し^{やまがたしんじょうし} く^{やまがたしんじょうし} 東^{やまがたしんじょうし} 北^{やまがたしんじょうし} を^{やまがたしんじょうし} ま^{やまがたしんじょうし} わ^{やまがたしんじょうし} る^{やまがたしんじょうし} こ^{やまがたしんじょうし} と^{やまがたしんじょうし} 、^{やまがたしんじょうし} ず^{やまがたしんじょうし} っ^{やまがたしんじょうし} と^{やまがたしんじょうし} 支^{やまがたしんじょうし} 援^{やまがたしんじょうし} を^{やまがたしんじょうし} 、^{やまがたしんじょうし} い^{やまがたしんじょうし} や^{やまがたしんじょうし} そ^{やまがたしんじょうし} ん^{やまがたしんじょうし} な^{やまがたしんじょうし} 大^{やまがたしんじょうし} 層^{やまがたしんじょうし} な^{やまがたしんじょうし} も^{やまがたしんじょうし} の^{やまがたしんじょうし} で^{やまがたしんじょうし} は^{やまがたしんじょうし} い^{やまがたしんじょうし} が^{やまがたしんじょうし} 、^{やまがたしんじょうし} し^{やまがたしんじょうし} て^{やまがたしんじょうし} い^{やまがたしんじょうし} き^{やまがたしんじょうし} たい^{やまがたしんじょうし} と^{やまがたしんじょうし} 思^{やまがたしんじょうし} っ^{やまがたしんじょうし} てる。

そして、このことを^{さいかくにん} 再^{さいかくにん} 確^{さいかくにん} 認^{さいかくにん} させ^{さいかくにん} て^{さいかくにん} も^{さいかくにん} ら^{さいかくにん} っ^{さいかくにん} た^{さいかくにん} シ^{さいかくにん} ン^{さいかくにん} ポ^{さいかくにん} ジ^{さいかくにん} ム^{さいかくにん} に^{さいかくにん} 感^{かんしゃ} 謝^{かんしゃ} し^{かんしゃ} て^{かんしゃ} い^{かんしゃ} る。

がくしゅうかい かいさい
学習会を開催します。

しょうがいしゃさべつかいしょう さくせい
障害者差別解消NGOガイドライン作成プロジェクト

タウンミーティング in^{うつのみや} 宇都宮

にちじ へいせい ねん がつ か ど
日時 平成27年9月5日(土) 13:00~16:45

ばしょ うつのみやひがしみんかつどう
場所 宇都宮東市民活動センター ホール

ていいん めい
定員 100名

もうしこみしめりり がつ にち もうしこみ じりつせいかつ
申込締切 8月28日 (お申込は自立生活センターとちぎまで)

しゅさい にほんかいぎ じりつせいかつ とちぎしょう
主催 DPI日本会議 自立生活センターとちぎ 栃木障がいフォーラム



き かん し ころどくかい いんぼしゅうちゅう

機関誌購読会員募集中

じりつせいかつ きかんし ねん かいほうこう ころどく
自立生活センターとちぎの機関誌(年3回発行)の購読をしてくれる

かいいん ぼしゅう かいいん とうろく かつ
会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、CILとち

ぎのさまざまなイベントのご案内もいたします。年会費 300円